

◆ 6. 人が育てる森林のピンチ ◆

人工林は、間伐などの手入れをしないと、光が森林内に入りこまないため下草が少なくなってしまう。丹沢山地では、シカが下草を食べてしまうことも加わって、状況は深刻です。下草のなくなった森林は、水をたくわえる大切な役目をもつ土が乾そうしたり、雨で流れ出してしまう。



荒れた人工林 細い木が多く、下草もなく、根っこがむき出しになっている。



大雨の後、森林の土が泥水になって中津川に流れこんでいるようです。

(2004年(平成16年)6月22日)

● 人工林が荒れる原因 ●

丹沢山地では、自然の森林を大規模に伐採しながらスギやヒノキを植林してきましたが、外国から安い木材が入ってくるようになって、丹沢山地の木材は使われなくなり、人工林の手入れもされなくなりました。

